

■「北海道マリンビジョン21 コンテスト 2018 表彰式」について

北海道開発局 農業水産部 水産課

令和元年7月2日に「北海道マリンビジョン21 促進期成会」（以下、「期成会」という）の総会が100名を超える関係者の出席により札幌市内で開催され、総会に併せて、「北海道マリンビジョン21 コンテスト2018」（以下、コンテスト）の表彰式が行われましたので報告します。

各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献した優れた取り組みを表彰し、取り組みの更なる推進や他地域への活動の普及を図るため、期成会が主催し、当局の後援によりコンテストを平成20年度から開催しています。

平成28年度の第9回目までは表彰を「総合部門」「個別取組部門」としていましたが、平成29年度の第10回目以降は「最優良賞」「優良賞」「奨励賞」に見直して実施しております。

今回、第12回目となるコンテストでは、最優良賞は根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会、優良賞は苫前地域マリンビジョン協議会、寿都地域マリンビジョン協議会、奨励賞は遠別地域マリンビジョン協議会、福島地域マリンビジョン協議会及び根室(落石)地域マリンビジョン協議会が受賞し、それぞれ関係者に表彰状が授与されました。

受賞した取り組みの概要は以下のとおりです。

根室地域(歯舞地区)【最優良賞】

新たな地域ブランドとして「金たこ(活たこ)」を確立させたことで、消費者からの需要が高く、高付加価値化や価格の安定化が図られました。本年度は品質管理の徹底に重点を置き、トレーサビリティの確立に向け、加工業者や関西圏の居酒屋と連携し、本格導入に向けた現地調査を実施しました。

現地調査では、「流通過程を把握することができること」、「生きたままの状態加工業者へ出荷されていること」などの点が、協力店舗から高く評価されました。また、モニタリングとして消費者へ感想を聞いたところ、「非常に鮮度も良く、歯ごたえも柔らかいため、普段、たこを口にしない子供も『金たこ』であれば美味しく食べられる」との評価をいただきました。

これらの取り組みは、地元水産物のPRと販路拡大に繋がり、低迷する魚価や漁業者所得の向上に寄与す

るとともに、地元水産物の振興の取り組みとして他地域マリンビジョンへのモデルとなることが高く評価されました。



最優良賞の表彰状授与の様子

苫前地域【優良賞】

観光拠点施設である「とままえ温泉ふわっと」に併設する道の駅において、農水産物の直販に加え、雪氷熱を利用した荷さばき所のPR(チラシ配布等)を実施しました。

また、荷さばき所で鮮度保持された水産物の箱にロゴマークを使用し、差別化を図るとともに、当町のイベントである「エビ籠オーナー in 苫前」においては、エビの箱詰めの際、発泡スチロールに雪氷熱エネルギーについてのチラシを貼付し、PRを行いました。

さらに、「とままえ温泉ふわっと」のレストランで提供されている「甘エビ丼」のメニュー表に、雪氷熱を活用して鮮度保持している旨の表記を行い、レストラン利用者に雪氷熱エネルギーをPRしています。

これらの取り組みは、全国的にも珍しい取り組みとなっている雪氷熱を利用した水産物の鮮度保持と地域水産物の販売PRとの連携であり、先駆的・独創的な取り組みとして高く評価されました。

寿都地域【優良賞】

官学が連携した水産振興として、平成30年度はホタテ・カキ養殖漁場環境評価やアサリ増養殖、漁港の稚仔魚保育機能などを研究しており、資源管理や増養殖に継続して取り組んでいます。

また、漁業の担い手を確保するため、研修生への生

活支援を盛り込んだ町独自の就業者研修支援事業(長期研修)に取り組み、6名の研修生が制度を活用しながら漁業に従事しています。

さらに、「生炊きしらす佃煮」の原料である主要魚種のイカナゴを「生しらす」として町の新たな特産品とすべく、町・漁協・観光物産協会・町内飲食店が戦略を練り、「生しらすのバック詰め」の販売や「生しらす丼」の提供に取り組みました。

これらの取り組みは、水産業の振興と地域経済の活性化の取り組みとして、他地域マリンビジョンへのモデルとなる総合的な取り組みであることが高く評価されました。



優良賞の表彰状授与の様子

遠別地域【奨励賞】

「Yahoo!」のデジタル人材育成プログラムの一環で遠別農業高校生徒を対象に、地域に埋もれている魅力を発掘し、発信する人材を育てることを目的に「Yahoo!」から高校へ講師を派遣し、マーケティングの基礎からネット広告配信、ネットショップサイトの運営を指導しました。

また、地元のホタテ・タコの入った、えんべつコロツケや遠別産のミズダコなどの商品を生徒のデジタル教材として活用しネットショップで販売を行いました。

これらの取り組みは、地域漁業に関する知識を得る良いきっかけとなり、過疎地域に住んでいても世界中の人に商品を届けられるグローバルな人材育成に寄与する取り組みとして大いに期待されるものであり、関係者の一層の連携により発展や持続性が期待される取り組みとして評価されました。

福島地域【奨励賞】

未利用となっていた養殖コンブ漁業で生じる間引きコンブを惣菜原料として活用しており、さらなる規模拡大を図るため、民間企業が主体となり地元福島町に

加工施設を整備しました。

乾燥加工の施設が整備され、これまでより大規模に間引きコンブの加工が可能となり、漁業者の協力をこれまで以上に得ることができました。また、加工施設が整備されたことにより10数名の雇用が確保されました。

これらの取り組みは、未利用水産物の有効活用によって、新たな産業の創出となり地域の雇用に繋がることが期待され、民間企業とのさらなる連携により発展や持続性が期待される取り組みとして評価されました。

根室(落石)地域【奨励賞】

生態系保護・自然景観保全のため、地域住民一体となった海浜清掃活動や地域の貴重な観光資源である高山植物や野生馬、野鳥の宝庫「ユルリ島」の清掃活動を行い、環境保全を図りました。また、生態系を守っているとされる野生馬の高齢化を懸念して、根室・落石地区と幻の島ユルリ島を考える会が実施主体となったクラウドファンディングにおいて集まった寄付金により、島内に馬を3頭放牧し、生態系維持の推進を図りました。

これらの取り組みは、地域の資源である自然環境・景観の保全を図り、他団体との連携により貴重な生態系の保護に繋がることが期待されることから、関係者の支援により発展や持続性が期待される取り組みとして評価されました。

